

## 5 視点 防災・減災力の向上

命をまもる

キーワード 家具類等の転倒防止、防災管理対象物、防災意識調査

### 現状報告

#### 家具類等の転倒防止対策の推進

大津市が保有する全ての施設を対象にした家具類等の設置実態調査が行われ、安全対策の向上が図られました。  
(平成23年9月、平成24年2月定例会にて質問)

## 6 視点 市民本位の環境対策

環境をまもる

キーワード 化学物質使用に関するガイドライン、薬剤の適正使用、農薬危害防止運動

現状報告 タニフェスト 谷ゆうじの約束 薬剤の過剰な散布が公園・学校などの環境を悪化させないよう努めます。

#### 揮発性有機化合物対策の充実

化学物質による健康や環境リスクの低減を図るため、「市有施設の室内等における化学物質使用に関するガイドライン」が策定されました。  
(平成23年2月定例会にて質問)

#### 谷ゆうじ質問関連報道

化学物質入念チェック 大津市、施設管理で新指針 濃度測定値5年保存、定期報告  
平成23年11月16日 京都新聞

## 7 視点 健康で安心して暮らせる社会

健康をまもる

キーワード 健康寿命の延伸、スマートライフプロジェクト、健康増進普及月間、健康おおつ21、若年層からの認知症予防対策

現状報告 タニフェスト 谷ゆうじの約束 自立して暮らせる健康寿命を延ばすため、介護予防と生活習慣病対策の推進に努めます。

#### 健康寿命の延伸に向けた取り組みについて

生活習慣に対する若い世代の意識を高めるため、改善につながる事業に参加した場合にポイントを付与し、企業からの協賛等によって景品等を配布する報奨施策の導入が検討されることになりました。  
(平成23年12月、平成24年9月定例会にて質問)

健康寿命の延伸を将来都市像とされる松本市を視察(平成24年8月視察)



## さらなる視点 青少年の健全な育成

子どもをまもる

#### 校内暴力に対する教育的配慮のあり方について

質問項目のうち、「暴力行為と犯罪について」を掲載。

暴力行為が犯罪であるということについて児童や生徒が理解を深める取り組みが必要である。例えば「プロレスごっこ」という言葉があるが、遊びで許される行為ではなく、プロレスによって相手にけがをさせても傷害罪に問われないのは、その行為が正当業務行為であるからであり、刑法によって違法性阻却事由として認められているからである。暴力行為と犯罪について正しい知識を得ることは、青少年の健全な育成にとって重要なことであると考え、本市の見解は。

答弁者 教育部長

学校内での暴力行為が社会に出てからの暴力行為につながることを考えた上で、暴力行為については毅然とした態度で指導を行うことが大切であると考えます。暴力行為は犯罪であることについても、学校内で指導した上で、関係機関との連携は不可欠であると考えております。  
(平成24年9月定例会にて質問)

# 大津・まもり隊

vol.9

討議資料

発行：谷ゆうじ後援会

## ご挨拶

木々の葉も少しずつ色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私はこれまで7つの視点に基づき活動を行ってまいりましたが、「青少年の健全な育成」を新たな視点とし、子どもを暴力から守るための取り組みをより積極的に行っていくこととしました。暴力は反社会的な行為であるにも関わらず、ドラマや漫画などにおいては、誤った認識を助長する表現で描かれることがあり、絶対に許される行為ではないことを児童や生徒に継続して伝えていく事が重要であると考えます。

また、校内暴力については、教育委員会や学校内における取り組みだけでなく、児童相談所への通告、警察への援助要請など、様々な措置を同時的、段階的に行う必要があります。行き過ぎた教育的配慮によってこれらの機会が損なわれないよう、今後も毅然とした対応を求めてまいります。



なお、選挙時にお約束をいたしました「タニフェスト」につきましては、土地開発公社の清算に向けた取り組みや琵琶湖岸の景観を守るために必要となる草津市との連携などにおいて進捗がみられました。他の項目も含め、実現に向けた取り組みを今後も進めてまいります。

大津市議会議員 谷 祐治

## 谷ゆうじ プロフィール

### ◆経歴

- 昭和48年11月 大津市に生まれる。
- 大津市立志賀小学校・唐崎中学校卒業。
- 滋賀県立石山高等学校卒業。
- 近畿大学理工学部建築学科卒業。
- 県内建築設計事務所に勤務後、一級建築士事務所谷祐治まちなみデザイン研究所を設立。滋賀県及び大津市景観審議会委員として、景観施策の推進に携わる。
- NPO法人滋賀県健康福祉会の代表として、高齢者介護事業に従事。滋賀県における協働推進の取組みにも参画。
- 2007年 大津市議会議員に初当選。大切なものをまもるため、「7つの視点」で議員活動に取組む。
- 2011年 大津市議会議員2期目当選。
- 2012年 一般社団法人 大津青年会議所第60代理事長・社団法人日本建築家協会近畿支部滋賀地域会副会長に就任。

### ◆議会所属委員会

- 生活産業常任委員会
- 予算決算常任委員会
- 観光振興対策特別委員会

### ◆所属団体

- 社団法人 日本建築家協会
- 公益社団法人 滋賀県建築士会
- 一般社団法人 大津青年会議所
- 大津商工会議所 青年部
- 日本景観学会
- NPO法人 滋賀県健康福祉会
- 大津市消防団 滋賀分団 他



福岡県青少年健全育成条例について(平成23年11月視察)



所属会派主催による市政報告会

## 谷ゆうじ後援会 事務所

〒520-0026 大津市桜野町二丁目1-21  
メゾンみづほ103号  
TEL.077-524-6164 FAX.077-524-6165  
ホームページ http://www.taniyuji.jp/  
E-mail matinami@taniyuji.jp



## 谷ゆうじのホームページ

大切なもの  
まもりたい

ぜひ  
ご覧ください!!

谷ゆうじ

検索



# 7つの視点での取り組み

**キーワード** は市議会での質問事項から抜粋

9月定例会においては、「**青少年の健全な育成**」をさらなる視点として一般質問をおこないました。

## ① 視点 健全で持続可能な行財政運営

財政規律をまもる

**キーワード** 大津市土地開発公社、大津市土地開発基金、大津市サイクリングターミナル

**現状報告** タニフェスト 谷ゆうじの約束 塩漬け土地の金利負担を抑制するため、**大津市土地開発公社の清算**を促します。

### 大津市土地開発公社の清算

外部有識者からなる大津市土地開発公社経営検討委員会が計6回に渡って開催され、将来負担の軽減を図るためにも、第三セクター等改革推進債を活用して解散すべきとの結論が出されました。

(平成23年5月・9月、平成24年2月・9月他定例会にて質問)



利息が時価評価額を上回った塩漬け土地(唐橋町)

### 谷ゆうじ質問関連報道

**大津市土地開発公社 廃止も検討 利子年1億円超「塩漬け」1万6400平方メートル**

平成23年9月14日 読売新聞

**土地開発公社 廃止検討 大津市 バブル後 負債膨らむ**

平成23年9月21日 朝日新聞

**土地含み損 28億6000万円 大津市土地開発公社 外部検討委を設置**

平成24年3月1日 京都新聞

**保有地の含み損 28億円 市開発公社解散も検討 市議会**

平成24年3月1日 毎日新聞

## ② 視点 まちの賑わい・市民交流の創造

活力をまもる

**キーワード** 近代化産業遺産、びわ湖大津館、琵琶湖疏水、旧逢坂山隧道、街並み博物館通り、中心市街地活性化基本計画、旧大津公会堂、観光案内所

**現状報告** タニフェスト 谷ゆうじの約束 旧琵琶湖ホテルなど、**近代化産業遺産を活かしたまちづくり**に取り組みます。

### びわ湖大津館(旧琵琶湖ホテル)の活性化



本年度で開設10年目を迎えたびわ湖大津館

さらなる活性化を図るため、びわ湖大津館の利活用を考える検討委員会が設置され、琵琶湖を活かした様々な取り組みが検討されています。

(平成23年5月定例会にて質問)

### 谷ゆうじ質問関連報道

**来館者増へ活用探る びわ湖大津館 検討委初会合 英国式庭園など見学**

平成23年11月16日 京都新聞

**びわ湖大津館 活用考える 検討委初会合 来年、方策を市長に**

平成23年11月20日 読売新聞

## ③ 視点 湖都に相応しいまちなみ

まちなみをまもる

**キーワード** 近江八景、旧東海道、草津市との連携、開発指導要綱、土地利用問題協議会、土地利用に関する基本条例、古都指定10周年、高さ規制の強化

**現状報告** タニフェスト 谷ゆうじの約束 琵琶湖岸の景観をまもるため、**近江八景でつながる草津市との連携**を目指します。

### 近江八景・旧東海道を活かしたまちづくり

「大津・草津湖上サミット」が両市長参加のもとで開催され、景観施策において連携を強化する方針が確認されました。

(平成24年2月・6月・9月他定例会にて質問)



船上から両市の景観を視察された大津市長と草津市長(平成24年9月開催)

### 谷ゆうじ質問関連報道

**大津・草津両市長 景観保全で連携 初の湖上サミット**

平成24年9月18日 朝日新聞

**景観施策で連携強化へ 大津・草津湖上サミット 2市長が船上視察**

平成24年9月18日 産経新聞



関門景観条例を北九州市と共に制定されている下関市を視察(平成24年2月視察)

## ④ 視点 市政運営の透明性向上

透明性をまもる

**キーワード** 環境美化センター、特殊勤務手当、公益通報制度、コンプライアンス条例、契約事務のチェック体制、予算編成過程の公開

### 現状報告

#### 環境美化センターにおける業務の適正化

車輛基地の不適切な使用実態を明らかにし、勤務時間内における適正行動の徹底を強く求めました。また、明確な基準のないまま支給されている清掃作業等手当については、対象業務の見直しが行われることになりました。

(平成23年12月、平成24年6月定例会にて質問)



ゴミ収集車の車庫に持ち込まれていた私物

### 谷ゆうじ質問関連報道

**回収ゴミで“休憩空間”センター車庫に卓球台やソファー 勤務中遊びも**

平成23年12月1日 読売新聞

**大津市、関連全施設を調査 回収ゴミ持ち込み受け 300~400カ所**

平成23年12月2日 産経新聞

**収作物持ち込み 業務見直し方針**

平成23年12月9日 京都新聞

**大津市 ゴミ収集手当、支給適正化へ**

平成24年6月6日 毎日新聞